

2. 「エクソソームの医療応用と産学連携」

藤田 雄（産学連携講座エクソソーム創薬研究講座／呼吸器内科）

3. 「腎臓再生を目指した産学連携」

横尾 隆（腎臓・高血圧内科）

まとめ「産学連携：日米における経験と慈恵医大への提言」

村山 雄一（脳神経外科学講座）

- (2) 第1267回成医会例会は、2022年2月4日（金）に行われ「医療×サイエンス×アートの力で！」が講演のテーマとして選ばれた。司会は繁田雅弘教授（成医会運営委員長）が務め、書家・芸術家・大阪芸術大学教授である紫舟氏が講演を行った。また、eラーニングにより配信された。
- (3) 第139回成医会総会については、2022年10月6日（木）、7日（金）の2日間にわたって開催の予定。

2) 各種行事

- (1) 2021年4月9日（金）、2021年度医学科および看護学科入学式を挙行了した。
- (2) 2021年10月2日（土）、同窓会支部長会議・学術連絡会議は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、書面にて開催した。
- (3) 例年10月に開催している卒業50周年記念懇親会（昭45年卒及び昭46年卒）は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を見送った。
- (4) 2021年10月28日（木）、第117回解剖諸霊位供養法会を増上寺において執り行った。
- (5) 2021年11月1日（月）、「穆佐小学校児童招待旅行」の代替として、Zoomを利用して本学と穆佐小学校を中継し、「東京慈恵会医科大学と学祖高木兼寛に纏わる講話」が開催された。
- (6) 2021年11月13日（土）、学祖高木兼寛先生の墓参を行った。
- (7) 2021年12月18日（土）、「宮崎市立中学校特別大使」の代替として、Zoomを利用して本学と高岡中学校を中継し、宮崎市が主催する「宮崎市高岡町教育の日 合同穆園学習会」に参加した。
- (8) 2022年1月4日（火）、新年挨拶交歓会を、テレビ会議システムを使用し、全機関にて開催した。
- (9) 2022年1月31日（月）、2022年3月末をもって定年を迎えた岡野 孝教授、立花利公教授、芦田ルリ教授、橋本尚詞教授、和田高士教授、三森教雄教授、岩本武夫教授、太田有史教授、宮田久嗣教授、須江洋成教授、杉本健一教授の退任記念パーティーは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。
- (10) 2022年2月25日（金）、感謝状伝達式を行い、献体者遺族に対して文部科学大臣からの感謝状を手渡した。
- (11) 2022年3月5日（土）、第97回医学科、第27回看護学科卒業式を挙行了した。

3) 印刷物等の発行

- (1) 法人誌「The JIKEI」

慈恵大学の“今”を伝えることをコンセプトに全面カラー版誌面構成にリニューアルし、5年目を迎えた。今年度も同窓、医学部父兄、記念事業募金寄付者、医療連携機関、教職員などに送付し、本学の活動をPRした。

- 1) 第36号 特集「第三病院リニューアル事業における基本計画・基本設計」

2020年1月から猛威を振るっている新型コロナウイルス感染の拡大に伴い、本学では事業計画の見直しを余儀なくされ、第三病院立て替え計画を1年間延期することになった。現在の第三病院の本館は昭和45年の竣工から50年度が経過し、建物の老朽化も進んだことから第三病院リニューアル事業が計画されることとなり、その基本計画・基本設計の概要について巻頭特集で報告し、2021年8月に発刊した。

- 2) 第37号 特集「本学における産学連携の現状と将来」
最近研究成果を企業などと連携して更に発展させ、得られた知的財産を社会に還元することが重視されている。本学でもいくつか興味ある成果がでつつあり、単科医科大学における研究成果を実装するための問題点を分かりやすく解説すると共に、本学の産学連携の在り方と将来について概説し、2022年2月発刊した。
- (2) 慈恵ニュース
- 1) リニューアルされた創刊200号から職員向け学内広報誌「慈恵ニュース」の役割や編集方針が見直され、座談会等の対面取材を主とした企画内容に変更となったが、2021年2月に発生した新型コロナウイルス感染症拡大の影響により記事制作におけるインタビュー等で十分な取材活動が出来ない状況を鑑み、やむなく休刊を余儀なくされている。今後はトピックスなど他の広報誌との重複記事の統合、新大学ニュースレター運用で検討されているSNS活用等Web媒体への移行も視野に編集委員会を中心に慈恵ニュースのあり方を継続検討していく。
- 2) 2021年6月に「春季労使協議会結果」、2021年7月に「学校法人慈恵大学 中期目標・中期計画・2020年度事業計画」を号外として教職員に配布した。
- (3) 大学ガイドブック
2021年6月に受験生向けの学校案内「大学ガイドブック2022」を発行した。本学の医学教育の特色である「診療参加型臨床実習」や「国際交流」の紹介、新カリキュラムの概要やサークル活動をはじめとするキャンパスライフについて幅広く掲載した。併せて、オープンキャンパス並びに入試日程に関わる「大学入試ポスター」を医学科、看護学科別に発行し、高等学校、予備校、同窓会長、支部長、学術連絡委員などに送付した。
- (4) 大学入試ポスター
2021年6月にオープンキャンパス並びに入試日程に関わる「大学入試ポスター」を医学科、看護学科別に発行し、高等学校、予備校、同窓会長、支部長、学術連絡委員などに送付した。
- (5) 大学公報
学事、教職員人事、公示、行事、東京慈恵会公報などを取りまとめ、毎月定期的に発行した。
- (6) 大学案内
本年は医学科カリキュラムの変更等に伴い別冊の改定を予定していたが、建学の精神・解説の追加等昨今の更新頻度の高まりなどを鑑みから大学広報委員会において、「大学案内」の在り方を検討し、Webでの閲覧を可能にすると共にQRコードを掲載した補助的な配布資料へと形態を変更検討することとなったため、改定は次年度以降に先送りすることとなった。
- (7) 大学公式ホームページ
ホームページについては、法人広報委員会、大学広報委員会、4病院広報委員会、各機関附属病院広報委員会のもと大学公式ホームページを管理・運営した。
- 1) 2021年4月、新型コロナウイルス感染症に伴う入院・外来診療の制限について掲載した。
2) 2021年4月、キムリア治療提供可能施設認定について掲載した。
3) 2020年5月、緊急事態宣言発令に伴う附属病院・柏病院の対応を掲載した。
4) 2021年6月、大学情報公開 事業報告書2020年度を掲載した。
5) 2021年7月、東京慈恵会医科大学学長候補者の募集及び東京慈恵会医科大学附属病院長公募案内を掲載した。
6) 2021年9月、大学院医学研究科看護学専攻博士前期課程入学試験合格者発表、2021年度病院指標を掲載した。
7) 2021年10月、附属病院JIKEI MEDIA 学祖・高木兼寛と渋沢栄一サイトを更新公開した。
8) 2021年11月、東京慈恵会医科大学次期附属病院長選任について掲載した。
9) 2022年2月、2022年度 医学科看護学科入学試験合格者発表、医学科一次入学試験理科(物理)の試験問題、総合医科学研究センター自己評価報告に係る評価委員会からの評価結

果について等を掲載した。

(8) イン트라ネット

「理事長・学長室」、「行事予定」、「大学公示」、「理事会・教授会議抄録」、「事業計画・事業報告書」、「教職員アンケート」、「学内使用の各種書式」等の更新業務を担当した。

今年度は、「理事長・学長室」からの情報発信を積極的に掲載し、教職員に周知した。また、トップページのアイコンの配列を見直し、重要かつ周知が必要なものを上位に掲載すると共に、what's newへの掲載と更新頻度を高め、最新情報を入手しやすくするよう努めた。広報課のページを整理し、ホームページメンテナンスやオールユーザーメールの送信依頼時に必要な事項やホームページアクセス数を掲載した。第三病院リニューアル事業計画の周知を目的に専用ページを更新した。

(9) オールユーザーメール

セミナー、シンポジウム、講演会、研修会等の開催通知のほか、教職員のテレビ、ラジオ、講演会等への出演や新聞、雑誌等への掲載情報を中心に440件配信した。